

## 『防災ガイドマップ』『原子力防災のしおり』を作成しました

町では、自然災害や原子力災害に備えるため『防災ガイドマップ』と『原子力防災のしおり』を配布しています。日ごろから手の届くところにおいていただき、災害に備える「防災」と災害時の被害を少しでも減らす「減災」に活用してください。

### ①防災ガイドマップ

北海道から新たに公表された「津波浸水想定区域」「余市川の洪水浸水想定区域」に基づき、避難場所等の見直しを行い、防災ガイドマップを作成しました。避難場所等は、その利用の可否について、「地震」「津波」「洪水」「土砂」の災害種別ごとに区分けをしています。

また、避難するときに必要な持出品やいざという時の対処方法など、日頃から準備しておくべき内容についても掲載していますので、家族や近隣の方などで話し合い、災害時の準備に役立ててください。



### ②原子力防災のしおり

町では、福島第一原子力発電所の事故を受けて原子力防災対策の整備を進めています。このたび、「複合災害時の対応」や「避難退域時検査場所」など、新たな防災情報を盛り込んだ原子力防災のしおりを作成しました。

原子力災害時に町民の皆さんの安全を確保し、放射線から身を守るためには、国・道・町からの指示（防護措置）を迅速・適切に実施することが重要です。

この「しおり」は、町民の皆さんが落ち着いて適切な行動がとれるよう、その行動に必要な事項として、避難のながれや放射線に対する防護措置等に関する基本的事項を掲載しています。



問合せ 地域協働推進課 防災グループ ☎21-2142

## 春山登山や山菜採りを安全に楽しむために

春山登山や山菜採りの季節がやってきました。徐々に日差しが強まり、気温も10℃を超える日が増え、大型連休もあることから趣味やレジャーで多くの人が山に入る時期となります。しかし、この時期は、残念ながら毎年のように多くの遭難者や行方不明者が出ています。

今年は例年より積雪の多い所もあって、山には多くの雪が残っています。気温の上昇に伴って急速に融雪が進むことから沢や小さな川は増水しやすく、傾斜地ではなだれの危険があります。また、寒暖の差が激しい季節でもあるため、低気圧が通過した後は強い寒気が流入し、山岳部では冬山に逆戻りして猛ぶきや寒さによって身動きがとれなくなることも珍しくありません。

遭難など事故に遭わないよう、次のことに注意して趣味やレジャーを楽しみましょう。

### ◎無理のない「登山計画」を



- 計画を立てるときと出発前は気象状況や最新の天気予報を十分確認し、悪天時や天候の急変時には無理な行動を控えましょう。
- 単独行動は避けて経験豊富な人と一緒に行動するなど、体力と経験に応じてゆとりを持った計画にしましょう。
- 入山前には必ず登山計画書を最寄りの警察に提出し、家族にも渡しておきましょう。

### ◎情報収集や装備を万全に



- 情報収集や緊急時のために、ラジオ、無線機、携帯電話などを携行しましょう。また、携帯電話の予備のバッテリーを用意するなど情報収集と連絡の手段を絶やさないよう注意しましょう。
- 装備や服装を整えて十分な食料を用意しましょう。比較的標高の低い山や日帰りの登山でも油断は禁物です。特に防寒・雨具の準備は万全にしましょう。
- 山菜採りで道に迷ったときのために、登山同様に服装や食料などのことを考えて準備しましょう。

なお、この時期は一年を通して空気が最も乾燥し、山火事などが発生しやすくなります。山火事の原因はたき火やタバコなど火の取り扱いの不注意や不始末によるものが多いと言われています。火を使うときは、近くに消火用の水を用意し、火から離れないよう注意しましょう

問合せ 札幌管区气象台 天気相談所 ☎011-611-0170